



高校模擬国連国際大会報告

ご報告が遅れましたが昨年11月の全日本高校模擬国連大会で入賞した4校の生徒が日本代表団としてアメリカニューヨークで開催された高校模擬国連国際大会へ出場しました。本校からは高校3年生尾関裕宜君、高校2年生阿部潤太君の2名が参加し、4月25日～30日まで渡米しました。本校2名の生徒は人権・人道支援などを扱う会議にアメリカ合衆国大使として参加しました。二人を代表して高校2年生阿部君が原稿を寄せてくれましたのでお目通しいただけますと幸いです。一部普段聞き慣れない言葉が出てまいります、「モデ」とは大使が着席した状態で発言をして各国の主張・政策を議場全体で共有すること、「アンモデ」とは大使が席を離れ政策が一致または近い国同士が集まり決議案作成に向けて更に議論を深めることを指しています。

国際模擬国連大会への参加報告

昨年開催された全国高校模擬国連大会にて、私たちペア（尾関 裕宜：高3、阿部 潤太：高2）は最優秀賞を受賞させていただいたため、今年の春、ニューヨークで開催された模擬国連の世界大会である Global Classrooms International Model United Nations (GCIMUN) に日本の代表として参加するため、アメリカへ派遣されました。この大会への参加は、私たちにとって大きな挑戦であり、貴重な学びの機会となりました。ここでは、その経験について報告いたします。

【開会式と会議の開始】

日本の会議とは異なり、GCIMUN は壮大な開会式から始まります。国連本部で行われた開会式では、全ての参加者が一堂に会し、壮大な雰囲気の中でスタートを切りました。私たちはそこで多くの国の大使と初めて顔を合わせ、緊張と期待に胸を膨らませました。

会議初日は、議場に入ることから始まりました。65カ国、約110人の大使が集まる中、議場は大変な熱気に包まれていました。会議が始まると、各国の立場や意見を交わしながら、熱心な議論が繰り広げられました。電子機器が使用禁止であったため、全ての資料を事前に印刷し、バインダーを持参するなど、徹底した準備が求められました。

【模擬国連大会での経験】

会議は連日行われ、初日は主にモデレータードコーカス（モデ）による議論が中心でした。これは各国の大使が挙手を行い、議長に当てられると与えられたトピックに即して自国の立場を言う場面です。後ろの方に座った大使たちは議論の内容が聞こえにくいという課題もありましたが、工夫を凝らしながら発言の機会を探りました。2日目以降はアンモデレータードコーカス（アンモデ）が中心となり、各国の大使がグループに分かれて議論を深めました。廊下での議論など、状況に応じた柔軟な対応が必要となり、僕たちはアメリカ大使として先進国を率いて、決議案の作成及び提出を行いました。

【表敬訪問と学び】

今回の派遣では、国際社会で活躍する方々との表敬訪問も行いました。国連事務次長の中満泉さんや、日本政府代表部の山中大使、UNDPの川瀬さんなど、様々な分野で活躍される方々から直接お話を伺うことができ、国際社会でご活躍されているみなさんの芯の強さや信念、そして他者との協力を重んじる姿勢は、私たちにとって大きな学びとなりました。

特に印象的だったのは、中満さんが「国連は **neutral** ではなく、**impartial** である」と語った言葉です。これは、国連がどんな問題に対しても中間的な立場を取るのではなく、国連憲章の下でどんな立場の国とも同じ接し方をするということであり、その理念に基づく姿勢に国際平和を目指す強い意志を感じました。また、各国の大使が国際問題の解決に向けて真剣に議論を交わす姿を見て、私たちも一層努力を重ねる決意を新たにしました。

【今回の経験を通じて】

今回の派遣を通して、私たちは国際社会で活躍するための精神的な強さと他者との協力の重要性を学びました。国際大会で得た経験と学びを糧に、将来に向けてさらに努力を重ね、国際社会で貢献できる存在になることを目指していきたいと思えます。

最後に、今回の派遣を支えてくださった全ての皆様に感謝申し上げます。特に、派遣計画を立ててくださったGCスタッフの皆様だけでなく、励ましてくれたグローバル部の先輩や後輩、そしてもちろん、私たちの顧問の岡崎先生です。模擬国連は僕たちにとって、長いようで短い旅でした。そんな旅を、終始見届けて頂き、本当にありがとうございました。



(顧問より)

日本代表団の他校の大使も出席した会議は異なるものの、担当国はアメリカでした。渡米前の事前学習として派遣団は春休み中に都内のアメリカ大使館を訪問する機会を得て、情報収集に努めました。渡航前には政策発表会、渡航後には報告会が開かれ、長期に渡るプロジェクトであったことも併せてご報告致します。

専攻を考えるシリーズウェビナー（中1～高3対象 無料）

実施日直近のご案内となり申し訳ございません。これまでも何度かご紹介してきた海外大学での専攻分野について知るオンラインイベントのご案内です。今回は「サイバーセキュリティと AI」というテーマです。今後 AI の使用は避けて通れませんが、上手に活用すれば人類の幸福につながる一方で使用方法を誤ると社会が大混乱に陥るリスクも秘めています。私たちの生活に密接に関わるテーマについて学びを深めるチャンスになるとと思いますので興味のある生徒諸君はぜひ活用してみてください。費用は無料ですが、事前登録が必要になります。

日時：7月17日（水）

18:00～18:30 サイバーセキュリティと AI（英語）

18:30～ 質疑応答（英語&日本語）

講師：エリザ・マズラン講師

マズラン先生は、2011年に英国シェフィールド大学にて健康バイオ情報学(Health Bioinformatics)の博士号を取得しました。公衆衛生と医療介護供給の分野へのコンピューティングおよび先端技術の応用に強い関心を持つマズラン先生は、マレーシアと英国でサイバーセキュリティや AI を含むコンピューティング教育を中心に授業を行っています。今回の特別講義では、AI やサイバーセキュリティの重要性やそれを学ぶ意義について話します。

主催：UPAA (University Partnerships for Alternative Admissions) Japan

海外協定大学推薦制度というのがあり、本校も加盟しております。

費用：無料

申し込み：以下の URL から各自でお願いします。

https://zoom.us/webinar/register/4417176681595/WN_DF4KZ-HAR52KZoGEZulbKQ#/registration



8月～9月の外部団体主催イベントのお知らせ（中1～高3対象 無料）

少し先の実施となりますが、EducationUSA Tokyo が主催するイベントを2つご紹介します。この団体は「米国務省の支援を受けて中立的な立場から、アメリカへの大学・大学院留学に関する正確、公正、包括的な情報を提供しています。特定の大学を薦めることは行っていませんが、留学する方が、ご自身でアメリカの大学への出願準備ができるように、留学先となる学校の探し方、入学条件や手続きの方法、奨学金の探し方などについて、アドバイスを無料で提供しています。留学説明会も随時開催しています。（HPより引用）」

EducationUSA 主催：インスタライブ「Ask the U.S. College Senpai」

現在アメリカに留学中で、イリノイ州の McKendree University で2年間を終え、この秋から同じ州内の Lake Forest College に編入予定の日本人の学部生にお話しいたします。

日時：2024年8月6日（火）16:20～16:40

対象：アメリカ留学に興味のある方

時間：16:20～16:40

地域：全国オンライン

会場：<https://www.instagram.com/edusajapan/>

使用言語：日本語

申し込み：不要

参加費：無料

問い合わせ：tokyo@educationusa.org

通訳：通訳なし

EducationUSA 主催：アメリカ大学留学フェア

アメリカ留学を検討中の高校生、大学生、保護者、社会人、教育関係者等にとって、留学情報の収集やきっかけづくりに役立つイベントです。アメリカの大学、各種英語テスト団体、奨学金団体、高校交換留学団体などに直接、質問できる貴重な機会です。また、アメリカ留学に関するセミナーも実施します。

日時：2024年9月21日（土）10:00-17:00（予定）

会場：赤坂インターシティコンファレンス

参加登録方法：近日発表

参加大学・機関一覧（近日公開）

セミナースケジュール（近日公開）

当日本校は平常授業実施ですので、希望者は午後からの参加となります。午前中を公欠扱いにすることはできませんのでご留意下さい。

以下の URL から今後アップデートされる情報をご確認下さい。

<https://americancenterjapan.com/event/>